

地球温暖化対策推進協議会役員会からの意見と対応方針

※ 意見照会を2月27日～3月9日に実施、協議会役員会を7月2日に実施

計画素案の該当箇所	市川市地球温暖化対策推進協議会からの意見概要	対応方針
○計画全般	温暖化を防ぐための行動について、小学生が『ごみを減らす、緑を増やす。』とい書いてくれたが、このように市民にとってわかりやすい内容であることが大切だと思う。	・全体的にわかりやすい表現や言葉にするように努めます。
	取り組みごとの単純な削減効果だけでなく、そこから派生する影響も意識して取り組みを考えて欲しい。 ※ 例： 小学校中学校への創エネ設備の設置 ⇒ 設置した学校での環境に関する授業への反映 避難所での自立的な電力確保による避難者の安心感の増加	・取り組みの実施によって、取り組み自体の成果に加えて、他にも波及効果が生じるような取り組みの設定に努めます。
	地球温暖化の問題は非常にひっ迫しており、社会全体が生活スタイルを変えないといけない。 そのためにも、今後、市として全体でどういう方向で、社会のシステムを変えていくのかという大きな方向性が計画から見える様にしてほしい。	・計画の基本目標や基本理念と各取り組みのつながり分かるように努めます。 ・計画の基本目標や基本理念に基づいて、市がどのような方向を目指すのか伝わるように表現を工夫します。
	市の各取り組みと、市が目指す大きな方向性のつながりがわかるようにしてほしい。	
○削減目標 【第4章 4-1】	CO2を2050年までに70%削減すると聞いても実感がわからない、毎年どのくらい削減する必要があるのか1～2年単位で目標を示して欲しい。	・削減目標をより身近にイメージ出来るように表現を工夫します。
○公共施設におけるエネルギー有効利用の推進 【第5章 5-5 I-①】	市内公立小中学校の使用電力を太陽光発電などの自然エネルギーへ、積極的に転換を推進するべき。	・学校の太陽光発電システムの導入については、今後策定する本市のエネルギー計画と併せて検討を進めます。 ・クリーンセンターで、廃棄物発電によって生じた電力の公共施設利用について記載を検討します。
	学校の使用電力を自然エネルギーで充足出来るようになれば、緊急時の避難場所として利用する際に利用者が安心できるのではないか。	・自立分散型エネルギーなど、災害時の非常用電源の確保について記載を検討します。
○廃棄物の発生抑制・排出抑制の促進 【第5章 5-5 II-①】	プラスチックごみ問題への取組やレジ袋の有料化によりエコバックの持参が当たり前になったことは良かった。	・プラスチックごみの削減や、マイバッグの持参・使用について記載します。
○自動車使用における環境配慮の推進 公共交通機関・自転車の利用促進 【第5章 5-5 III-①・②】	電気自動車の普及や、バス・自転車の利用などが増えて欲しい。	・電気自動車の普及や、公共交通機関等の利用促進について記載します。
○都市緑化の推進 【第5章 5-5：IV-②】	市川でも大きな家が壊された後に、分譲住宅が何軒か建つことを良く見かけるが、その際、家の庭はコンクリートの打ちっばなしで緑が無いことが多い、条例でメインツリーを植えるように誘導して地域の緑化につなげて欲しい。	・今後の施策の参考にさせていただきます。
	実行計画にもあるように、低木でも良いので、駐車場の周りに生け垣を設置することを義務付けて欲しい。	
○市民との協働の推進 【第5章 5-5：V-②】	エコライフ推進員を経験することで、環境問題に対する意識が大きく変わるため、もっと多くの人に推進員を経験してもらいたい。	・エコライフ推進員の周知方法について検討します。

計画素案の該当箇所	市川市地球温暖化対策推進協議会からの意見概要	対応方針
○環境学習の推進・市民向け 環境講座の実施 【第5章 5-5：VI-①】	太陽光発電など自然エネルギーへの転換の取り組みを低炭素社会実現の方策として、学校の教材に活用するべき。	・市民や事業者が、環境問題に関心を持ち、取り組んでもらえるように、周知や説明の機会を設けてまいります。 ・より効果的な周知方法等については、施策の実施段階で検討いたします。
	小さい子供達にも紙芝居や色々なイベントを通して環境問題を教えていくことは良い事だと思う。	
	学校で環境学習に割り当てる時間を確保することが難しい、また、環境学習を行う際もテキストや指導用のマニュアルもなく、授業の準備等が教員の大きな負担になっている。	・先生の負担軽減が出来る様に学校での環境学習や教材等のあり方について検討いたします。
	SDGsについて、まだよく知らない人もいるので、分かりやすくアピールして知ってもらうことが必要。	・SDGsを意識した環境学習の実施について記載します。
○エコライフの普及と促進 【第5章 5-5：VI-②】	温暖化対策を実行してもらうには、市民に関心を持ってもらうことが不可欠なので、周知するために小さいスペースでも良いので、広報紙に温暖化ニュースを載せて関心を持ってもらうことが必要。 市川市は温暖化対策に熱心なんだと市民に知ってもらうことが大切。	・エコライフ推進の意義や効果について記載を見直します。 ・より効果的な周知方法等については、施策の実施段階で検討いたします。
	地球温暖化の原因を知って、CO2を減らすこと、一人一人が危機感を持って対策していくこと、家庭でできる小さなことから取り組んでいくことが大事。	
	環境問題に無関心の人もいるので、エコライフの生活に役立つ情報を発信して欲しい。	
	食品ロスの削減など「もったいない精神」をこれからも訴えていって欲しい。	
○取り組みに対する指標について 【第5章 5-5】	計画で定める各取り組みについて、数値的な目標値を定めて、継続的に進捗や達成率を評価し、対策をしていってほしい。	・数値などを用いて、出来る限り進捗や効果を示せるようにします。
	行政が数字を出すと達成を求められるのは理解するが、達成が難しい努力目標であったとしても、ここまでやらないと地球温暖化は止められないという目標値を出して、危機感を理解してもらうようにすべきではないか。	・二酸化炭素の削減目標については、環境審議会やパブリックコメントの意見などを参考に、庁内の各所管課と調整して設定します。